



PRESS RELEASE

2022 年 3 月 23 日
東経連ビジネスセンター

マーケティング・セールス戦略支援事業の新規採択について

東経連ビジネスセンター※（以下、東経連BC／会長 阿部 聡：（一社）東北経済連合会 副会長）は、「マーケティング・セールス戦略支援事業」において、2件の採択を決定いたしましたので、お知らせいたします。

1 件目の「ファーム・ソレイユ東北」は、400 年ほど前から地元石巻で栽培されている商用北限の桃生茶を「kitaha」のブランドと定義して販売。現在、ほうじ和紅茶や菓子など、さらなる商品のラインアップ拡充に取り組んでおります。

当センターの支援により、全国への販路拡大を目指すとともに、県内のハーブ園・苺農園との農商工連携や菓子製造における農福連携、今夏完成する新工場における小規模茶園との連携など、様々な地域産業への経済波及効果も期待される事業です。

2 件目の「亀山鉄工所」は、これまでの単純な粉砕機であるボールミルとは違う、非接触型三次元ボールミル&シェーカー「HYPER SHAKER」を開発。これにより、様々な業界の加工ニーズに対応が可能であり、優位性の高い商品を提供することが期待されます。

当センターの支援により、半導体や化成品、医薬品など高付加価値素材向けの活用を狙うとともに、主要部品を地元企業から確保するなど、地域連携による生産体制となっていることから、地域への経済波及効果も期待される事業であります。

なお、同事業の採択件数は、今回の2件を加え、累計43件となります。

記

No.	支援先	支援テーマ	所在地
1	(有) ファーム・ソレイユ東北	地域連携・事業継承・自社工場新設による、商用北限・桃生茶の和紅茶全国展開	宮城県 石巻市
2	(株) 亀山鉄工所	宮城バリューチェーンによる非接触型三次元ボールミル&シェーカー「HYPER SHAKER」の新事業開発	宮城県 仙台市

■リリースに関するお問い合わせ先

【お問合せ先】

東経連ビジネスセンター 阿部 好典

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10 セントレ東北 11 階
(一般社団法人 東北経済連合会 事務局内)
tel. 022-397-9098 fax. 022-262-7055
<http://tokeiren-bc.jp/>

有限会社ファーム・ソレイユ東北 日野 朱夏

〒986-0828 宮城県石巻市旭町 10-8
tel. 0225-92-8266 fax. 0225-22-2866
<https://ocha-asahien.co.jp/>

株式会社亀山鉄工所 平川 章

〒989-3124 宮城県仙台市青葉区上愛子
字下十三枚田 34-3
tel. 022-392-1445 fax. 0223-92-6477
<https://www.kamevomag.co.jp/>

■（有）ファーム・ソレイユ東北（宮城県仙台市/代表取締役 日野 雅晴氏）

- ・ 支援テーマ：地域連携・事業継承・自社工場新設による商用北限・桃生茶の和紅茶全国展開
- ・ 支援期間：2022年4月～2023年3月末
- ・ 支援先概要：（有）ファーム・ソレイユ東北（1972年12月創業、資本金300万円、従業員7名）
- ・ 業務内容：和紅茶・菓子の販売
- ・ 支援内容：同社は、1972年「お茶のあさひ園」としてお茶の小売業を開始。2代目の現社長が事業承継後、2003年に有限会社ファーム・ソレイユ東北を設立し、食品全般および飲料の卸売業・小売業を開始。

2011年の東日本大震災で店舗が全壊したため、一時は廃業も検討したが、地域のお客さまからの事業継続の声や3代目となる次女の「事業を継ぎたい」という申し出に後押しされ、事業を継続。

2014年からは、地域の皆さまに、恩返しができないかと考え、地元石巻で400年ほど前に栽培が始まった「桃生茶」に着目し、和紅茶の開発を開始。2017年6月からは和紅茶「kitaha」を発売。その後、ラインナップを拡充しており、今後、ほうじ和紅茶（和紅茶を使ったほうじ茶）・烏龍茶も新規ラインアップする予定としています。また、G20大阪サミット2019の晩餐会メニューへの採用、第6回新東北みやげコンテスト最優秀賞を受賞しており、今後、全国に販路を拡大していきたいと考えております。

同社の特徴は、①商用規模として東北唯一・北限という希少性 ②ハーブ園・苺農場との農商工連携をはじめ、障害者就労支援事業所との農福連携などがあります。また、今までは摘み取った茶葉を静岡へ運び、他社設備を借りて自社製品を加工しておりましたが、念願の自社工場が今年夏に完成予定であり、さらなる地域連携・経済波及効果が期待されます。

当センターは、マーケティング戦略および実行支援、ブランドストーリーリーフ、プロモーションムービーの制作等により、高付加価値型の稼ぐビジネスモデルの支援に取り組みます。





■（株）亀山鉄工所（宮城県仙台市／代表取締役 平川 章 氏）

- ・ 支援テーマ：宮城バリューチェーンによる非接触型三次元ボールミル&シェーカー「HYPER SHAKER」の新事業開発
- ・ 支援期間：2022年4月～2023年3月末
- ・ 支援先概要：（株）亀山鉄工所（明治22年創業、資本金2,000万円、従業員91名）
- ・ 業務内容：塔槽類・圧力容器・金属加工製品設計、製作
- ・ 支援内容：同社は、新事業である三次元粉碎装置が、実装版として完成したことを捉え、本装置の製造・販売を弊社事業の第2の柱として成長を目指し、取り組むものであります。

本装置は、弊社特許（非接触型三次元ボールミル&シェーカー）と「東北大学」の技術、そして宮城県内の企業であります「プロスパイン」の非接触ギア、「バイスリープロジェクト」の制御ソフト、「本田精機」のパーツ、「NTKセラテック」の容器をバリューチェーンとした新製品であります。

今回開発した非接触型三次元ボールミル&シェーカー「HYPER SHAKER」は、これまでの単純な粉碎機たるボールミルとは全く別の新規性を持ち、従来市場には存在しなかったもので、粉碎・混合・攪拌・混練・造粒が一台の機械で出来る多機能性から、さまざまな業界の加工ニーズに対応可能であり、優位性の高い商品を提供する事が可能となります。

先行販売していた小型機に加え、昨年、大型機も完成し、既に受注実績を出ている事を機に、今後、本格的に拡販を目指すこととしております。

同社の特徴は、①他に無い新規性と優位性の高い商品を有するとともに、高い技術力をもつ「ものづくり事業」である事 ②東北大学はもとより、主要部品を地元企業から確保する地域連携による生産体制となっていることなどから、地元への経済波及効果が期待される事業であります。

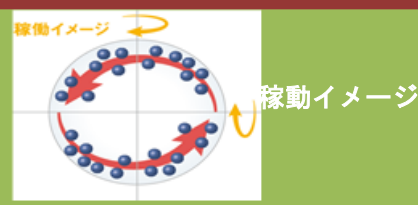
当センターでは、本商品の能力・性能や他商品との差別化ポイントを明確化した販促・プロモーション戦略の立案、営業販促ツールの制作サポート、出展コーディネート支援等に取り組めます。



HYPER SHAKER（大型機）



例) 琥珀の粉碎・混合





<参 考>

I. 過去の支援案件の紹介

※過去支援事業の「マーケティング・知的財産事業化支援事業」及び「マーケティング・成長戦略支援事業」を踏襲

- ① 斎藤マシン工業(株) (山形県天童市/代表: 阿部 光成 氏)
 - ・ 支援テーマ: コンパクトな植物油用濾過装置のセールス及びマーケティング支援
 - ・ 支援期間: 平成 23 年 7 月～平成 24 年 6 月
- ② (有)フラワート (秋田県由利本荘市/代表: 嶋 真紀子 氏)
 - ・ 支援テーマ: 世界初の“ジュエリング・フラワー (宝飾花)”のマーケティング支援
 - ・ 支援期間: 平成 24 年 1 月～12 月
- ③ (株)四季菜 (秋田県秋田市/代表: 高橋 真木夫 氏)
 - ・ 支援テーマ: 秋田産米粉を使ったスイーツの商品開発及びマーケティング戦略支援
 - ・ 支援期間: 平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月
- ④ (株)味の加久の屋 (青森県八戸市/代表: 野田 一夫 氏)
 - ・ 支援テーマ: 震災復興に向けた水産加工品のマーケティング戦略支援
 - ・ 支援期間: 平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月
- ⑤ あおもり藍産業協同組合 (青森県青森市/代表理事: 吉田 久幸 氏)
 - ・ 支援テーマ: 独自の染料化技術を核とするあおもり藍ブランド商品の開発及びマーケティング支援
 - ・ 支援期間: 平成 24 年 10 月～平成 25 年 9 月
- ⑥ 齋栄織物(株) (福島県伊達郡川俣町/代表: 齋藤 泰行 氏)
 - ・ 支援テーマ: 世界一薄い絹織物「妖精の羽 (フェアリー・フェザー)」を使用した製品開発とブランディング支援
 - ・ 支援期間: 平成 24 年 10 月～平成 25 年 9 月
- ⑦ 武輪水産(株) (青森県八戸市/代表: 武輪 俊彦 氏)
 - ・ 支援テーマ: 「鯖スパイシーマリネ」新規販路開拓支援
 - ・ 支援期間: 平成 25 年 1 月～平成 25 年 12 月
- ⑧ (株)佐渡乳業 (新潟県佐渡市/代表: 高橋 一五 (かずゆき) 氏)
 - ・ 支援テーマ: ナチュラルチーズ&デザート在全国ブランディング支援
 - ・ 支援期間: 平成 25 年 4 月～平成 26 年 9 月
- ⑨ アンデックス(株) (仙台市青葉区/代表取締役社長: 三嶋 順 氏)
 - ・ 支援テーマ: ソフトウェアパッケージ「SMART-Transport」の販売支援
 - ・ 支援期間: 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月
- ⑩ 久慈琥珀(株) (岩手県久慈市/代表取締役社長: 向 正彰 氏)
 - ・ 支援テーマ: 久慈琥珀(株)のブランディング支援
 - ・ 支援期間: 平成 25 年 7 月～平成 26 年 6 月



- ⑪(有)二唐刃物鍛造所（青森県弘前市/代表取締役社長：吉澤 俊寿 氏）
 - ・ 支援テーマ：作刀技術・和包丁の海外向け新ブランド戦略支援
 - ・ 支援期間：支援期間：平成 25 年 10 月～平成 26 年 9 月
- ⑫(株)川喜（岩手県釜石市/代表取締役社長：川端 力 氏）
 - ・ 支援テーマ：アルコールフリーで保存可能な“ヘルシー生そば”のブランド戦略支援
 - ・ 支援期間：平成 25 年 10 月～平成 26 年 9 月
- ⑬農業生産法人(有)今野醸造（宮城県加美郡/代表取締役社長：今野 昭夫 氏）
 - ・ 支援テーマ：仙台味噌を用いた新しい調味料開発とそのブランド戦略支援
 - ・ 支援期間：平成 25 年 10 月～平成 26 年 9 月
- ⑭(株)大武ルート工業（岩手県一関市/代表取締役社長：太田 義武 氏）
 - ・ 支援テーマ：「自動ネジ供給機」の販売網再構築と新規販路の開拓
 - ・ 支援期間：平成 26 年 1 月～平成 26 年 12 月
- ⑮(有)峰の雪酒造場（福島県喜多方市/代表取締役社長：佐藤 利也 氏）
 - ・ 支援テーマ：蜂蜜酒「AIZU MEAD（アイズ・ミード）」のブランディング支援
 - ・ 支援期間：平成 26 年 1 月～平成 27 年 3 月
- ⑯マルニ食品(株)（宮城県登米市/代表取締役：二階堂 玲子 氏）
 - ・ 支援テーマ：宮城県産小麦品種「あおばの恋※2」による新商品開発支援
 - ・ 支援期間：平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月
- ⑰合同会社ナチュール青森（青森県青森市/代表社員CEO：工藤 真義 氏）
 - ・ 支援テーマ：青森の厳選食材を使用したスイーツブランド
 - ・ 支援期間：平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月
- ⑱(株)今井産業（青森県平川市/代表取締役：今井 公文 氏）
 - ・ 支援テーマ：青森県産材の杉・りんご樹の端材を活用した木質新素材「e・Wood+」の知的財産事業化支援
 - ・ 支援期間：平成 26 年 7 月～平成 27 年 6 月
- ⑲(株)宮城化成（宮城県栗原市/代表取締役：小山 昭彦 氏）
 - ・ 支援テーマ：不燃性・光透過性を有する新規複合材のマーケティング
 - ・ 支援期間：平成 26 年 7 月～平成 27 年 6 月
- ⑳非公開
- ㉑(有)みちのく福島路ビール（福島県福島市/代表取締役：吉田 重男 氏）
 - ・ 支援テーマ：福島県産原料等を使用した地ビールのマーケティング支援
 - ・ 支援期間：支援期間：平成 26 年 10 月～平成 27 年 9 月
- ㉒(株)杉田味噌醸造場（新潟県上越市/代表取締役：杉田 文子 氏）
 - ・ 支援テーマ：伝統と技術を活かした味噌製品のリニューアルと新製品開発によるマーケットブランドの事業化
 - ・ 支援期間：支援期間：平成 27 年 1 月～平成 28 年 12 月



- ②③大島グループ（株）宇喜世ほかグループ企業 10 社（新潟県上越市/代表：大島 誠 氏）
 - ・ 支援テーマ：北陸新幹線着地マーケットに対する「百年料亭宇喜世」を核にした地域産品・観光回遊の事業化
 - ・ 支援期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月
- ②④農業生産法人(有)伊豆沼農産（宮城県登米市/代表取締役社長：伊藤 秀雄 氏）
 - ・ 支援テーマ：地域資源を活用した伊豆沼食農体験ファーム新事業展開支援
 - ・ 支援期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月
- ②⑤(株)いわきチョコレート（福島県いわき市/代表取締役：柳沼 大介 氏）
 - ・ 支援テーマ：めひかり塩チョコなど既存商品販路の再構築戦略と販路ターゲットを明確にした新商品の開発支援
 - ・ 支援期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月
- ②⑥佐渡乳業(株)（新潟県佐渡市/代表取締役社長 竹内 秀明 氏）
 - ・ 支援テーマ：農場ナチュラルチーズの直販体制の強化とブランディング支援
 - ・ 支援期間：平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月
- ②⑦久慈琥珀(株)（岩手県久慈市/代表取締役社長 向 正彰 氏）
 - ・ 支援テーマ：リファインド・アンバー（精製琥珀）による新製品デビューを機にしたブランディング支援
 - ・ 支援期間：平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月
- ②⑧(株)磐城高箸（福島県いわき市/代表取締役 高橋 正行 氏）
 - ・ 支援テーマ：おめでた箸および派生製品のブラッシュアップと拡販支援
 - ・ 支援期間：平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月
- ②⑨(株)ツガルサイコー（青森県黒石市/代表取締役 福士 拓弥 氏）
 - ・ 支援テーマ：津軽の観光資源を活用した外国人観光客の誘客支援
 - ・ 支援期間：平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月
- ③⑩中村物産(有)（宮城県仙台市/代表取締役 中村 拓造 氏）
 - ・ 支援テーマ：地盤置換工法「コロンプス」マーケティング支援
 - ・ 支援期間：平成 27 年 7 月～平成 28 年 3 月
- ③⑪ I M T エンジニアリング(株)（新潟県妙高市/代表取締役 富田 ゆきし 氏）
 - ・ 支援テーマ：「妙高ゆきエビ」のマーケティング戦略およびブランド構築支援
 - ・ 支援期間：平成 28 年 8 月～平成 29 年 7 月（12 カ月）
- ③⑫(株)ティ・ディ・シー（宮城県宮城郡利府町/代表取締役社長 赤羽 優子 氏）
 - ・ 支援テーマ：超精密研磨技術の加速器分野への展開を目指すマーケティング支援
 - ・ 支援期間：平成 29 年 1 月～平成 29 年 12 月（12 カ月）
- ③⑬(株)シオン（岩手県紫波郡矢巾町/代表取締役 石川 公一郎 氏）
 - ・ 支援テーマ：世界初・塗るだけで防炎塗膜化する木部専用国産自然塗料のマーケティング支援



- ・ 支援期間：平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月（12 カ月）
- ③④まるい食品(株)（山形県鶴岡市/代表取締役社長 伊藤 久美 氏）
 - ・ 支援テーマ：山形県産こんにゃく芋をまるごと使った
新スタイルこんにゃくデリカのシリーズ開発と販売に向けた事業化支援
 - ・ 支援期間：平成 30 年 1 月～平成 30 年 12 月（12 カ月）
- ③⑤(株)空地音ハーモニー（宮城県仙台市/代表取締役 菊池 美鷗 氏）
 - ・ 支援テーマ：世界遺産を核としたプレミアムウェディング・ツーリズム『みちのく和婚®』のコーポレートブランディングと連携・波及事業化
 - ・ 支援期間：平成 30 年 5 月～平成 31 年 4 月（12 カ月）
- ③⑥(有)三陸とれたて市場（岩手県大船渡市/代表取締役 八木健一郎 氏）
 - ・ 支援テーマ：「三陸の海産物の美味しさを封じ込め」安定して届ける取組み
～地域の稼ぐ力を高める付加価値型のビジネスモデルの提案～
 - ・ 支援期間：令和元年 9 月～令和 2 年 8 月（12 カ月）
- ③⑦(株)アクトラス（秋田県横手市/代表取締役 眞田 慎 氏）
 - ・ 支援テーマ：医理工連携プロジェクト「患者見守りシステム」の普及拡大
～秋田県が抱える課題解決に向けた取組みから開発された新システムを全国に広める～
 - ・ 支援期間：令和 2 年 2 月～令和 3 年 1 月（12 カ月）
- ③⑧(株)肉のふがね（岩手県岩手町/代表取締役 府金 伸治 氏）
 - ・ 支援テーマ：希少銘柄「いわて短角牛」の高付加価値化及び地域と連携した稼ぐ畜産モデルの構築
 - ・ 支援期間：令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月（12 カ月）
- ③⑨元正榮北日本水産(株)（岩手県大船渡市/代表取締役社長 古川 季宏 氏）
 - ・ 支援テーマ：国内最大級養殖場での「クリーン海水掛け流し」＆「無添加飼料」による
極上エゾアワビ ～三陸発・完全陸上養殖システムを活かした“安心・安全・安定”リテール供給事業～
 - ・ 支援期間：令和 2 年 7 月～令和 3 年 6 月（12 カ月）
- ④⑩上越ケーブルビジョン(株)（新潟県上越市/代表取締役社長 齋藤 俊幸 氏）
 - ・ 支援テーマ：東京交通会館への全国初民間直営アンテナ ショップ『雪國商店』新設を核
とした「放送通信 事業＋地域商社」による上越妙高地域製品の 首都圏ダイレクト販売ビジネスモデルの確立
 - ・ 支援期間：令和 2 年 11 月～令和 3 年 12 月（14 カ月）
- ④⑪(株)カネク醸造（青森県八戸市/代表取締役社長 山形 琢一 氏）
 - ・ 支援テーマ：モノづくり産業から食産業へ、第二創業 ＝「地域連携・資源活用」による
八戸初のクラフトビール開発とブランド確立
 - ・ 支援期間：令和 3 年 7 月～令和 4 年 6 月（12 カ月）【支援中】



Ⅱ. 東経連ビジネスセンターの概要（平成 23 年 4 月設立）

1. 目的

東北 7 県の産学官＋金融が総力をあげて、新しい東北「産学官グローバル・イノベーション・ゾーン東北の創生」に取り組み、東北の高い技術力や優れた地域資源を活かして新製品開発等に挑戦し、雇用増等、地域経済にインパクトを与え、成長モデルとなり得る企業・事業の創出を図る。

2. 活動期間 15 年間（平成 23 年 4 月～令和 8 年 3 月）

3. 組織形態 東北 6 県及び新潟県の支援機関、大学研究機関、大手企業を会員とする任意団体

4. 活動経費 年間 1 億円程度

5. 事務局所在地 東経連事務局内（宮城県仙台市）

6. 主な事業内容

- （1） 国際競争力の高い地域イノベーション拠点の形成強化
- （2） 産学官金共創・デジタル化による成長促進
- （3） 世界最先端研究開発プロジェクト（放射光、ILC 等）の誘致を契機とした次世代に繋がる新産業の創造

Ⅲ. マーケティング・セールス戦略支援事業

1. 概要

長志向を持って取り組む東北 6 県及び新潟県の事業が対象となる支援制度です。当センターでは、まずは専門家によるヒアリング（プレビューミーティング）を実施、その後専門家で組織する支援選定会議（マーケティング・セールス戦略支援会議）で支援採択の可否を判断します。支援が決まったら事業の課題解決に適した支援内容と各方面の専門家からなる独自の支援チームを編成します。事業者側は、1 年間の支援期間内、必要の都度支援チームのサポートを得て課題解決に取り組んでいきます。

2. 応募資格

（1）対象となる事業者

東北 6 県及び新潟県に拠点を置く、中小企業や団体を始め、地域未来牽引企業や大学発ベンチャーが対象となります。

（2）対象となる具体的事業

「雇用創出や新たに投資を誘発するなど地域経済に影響をもたらす成長事業」、「新規性など成長が見込める技術力を有する事業」、「異業種や大学などが連携して新しい価値を創出する事業」などのように、東北の「稼ぐ力を高める」ことに資する事業が対象となります。具体的には次の項目となります。



- ① 農林水産業や観光産業、伝統産業等が東北域内で連携し、地域発のブランドとして魅力を発信する事業
- ② 新規性や優位性の高い商品や技術開発力を有するものづくり事業
- ③ 東北の産業が域内外異業種等と連携し、新たな価値を創出する事業
- ④ 大学等の研究シーズを活かし、新たな価値を創出する事業
- ⑤ I L C、加速器関連プロジェクトに関する要素技術の開発に貢献する事業
- ⑥ 自動車、航空宇宙産業等のものづくり技術の進化に貢献する事業
- ⑦ デジタル化、その先のDXの推進により、新たな価値を創出する事業

3. 支援内容

下記の 7 分野から、当該企業の事業テーマに応じた支援チームを編成します。

(1) マーケティング戦略立案・実行支援

ネットリサーチ、フォーカス・グループ・ミーティング等のマーケティング・リサーチに基づく、差別化ポイントの明確化及び価格、流通、プロモーション等の戦略構築支援

(2) ブランディング支援

ネットリサーチ、ネガティブチェック等によるブランドネーム、ロゴ、シンボル等ブランド要素の構築支援

(3) 営業販促ツール・ホームページ強化支援

マーケティング・リサーチに基づく、販促ツール、ホームページ改定のアドバイス

(4) セールス戦略支援

マーケティング・リサーチに基づく、新たな販路開拓支援

(5) 知的財産戦略支援

特許、商標の出願、補正の実施および戦略構築支援

(6) 法務支援

販売契約書等の法務チェック支援

(7) ファイナンス戦略支援

資本政策等に関するアドバイス

4. 支援の特徴

民間支援ならではの、実効性ある 4 つのメリットが特徴です。

- (1) 上記 7 分野より、事業の課題解決に適した独自の支援チームを編成します。
- (2) 当センターで編成する支援チームのサポート費用（マーケティング・リサーチ費、パンフレット・デザイン費など）は、200 万円まで負担します。
- (3) 年度等の区切りはなく常時募集していますので、事業の進捗等に応じて、いつでもお申し込みが可能です。支援期間は、決定から 12 カ月間となります。
- (4) 国や県など公的助成に認定されている事業に、当センター事業をセットして追加支援・連携支援することが可能です